

ストーリー8

JICA×三菱UFJ銀行×パートナーバンク サステナブルファイナンスフレームワークの策定

三菱 UFJ 銀行・JICA
サステナブルファイナンス
フレームワーク



- 1. カーボンニュートラル社会の実現
- 2. 自然資本・生物多様性の促進
- 3. 循環型経済の促進
- 4. 産業育成、イノベーション支援
- 6. 金融サービスへのアクセス拡大

社会課題

東南アジアや途上国における
サステナブルファイナンスの裾野拡大

■ 取り組み概要

- ✓ 新興国における持続可能な成長を支援するため、国際協力機構（JICA）と連携しサステナブルファイナンスフレームワークを策定
- ✓ 國際的なサステナブルファイナンス市場拡大需要を取り込み、東南アジアや途上国におけるファイナンス機会創出に貢献
- ✓ JICAの知見と民間金融機能を融合し、MUFGとパートナーバンクが社会課題の解決に貢献できる新たな協働モデルを創出



パートナーバンクや地場企業がサステナブルファイナンスにアクセスする際の参入ハードルを下げるため、包括的なサステナブルファイナンスフレームワークの策定を検討

MUFG
考えた
ことが

民間/開発金融機関のファイナンス基準を整理し、双方に意義の高い資金使途を設定。両者が得意とするセクターでの協働も可能にすることで、今後の協調機会のさらなる創出にもつなげる

JICAと協働し、使いやすさと透明性の高い基準を両立した、MUFGとパートナーバンク向けのサステナブルファイナンスフレームワークを構築

個別認証なしで融資できる仕組みを実現

今後は、フレームワークを活用したソーシャル・グリーン関連の取り組みに対する融資をさらに増やし、各国における社会課題の解決推進に貢献



MUFG
実現すること

ストーリー8

JICA×三菱UFJ銀行×パートナーバンク サステナブルファイナンスフレームワークの策定

■ サステナブルファイナンスフレームワーク策定、東南アジアや途上国におけるサステナブルファイナンスの裾野を拡大

- 新興国における持続可能な成長を支援するため、JICAと連携しサステナブルファイナンスフレームワークを策定
- 国際的な機関であるMoody'sから包括的なSPO*を取得。個別案件の資金使途がフレームワーク上で定めた資金使途と整合していれば、MUFGとパートナーバンク（PB）がJICAと実施する協調融資において、個別のSPO取得無しに国際原則に準拠したサステナブルファイナンスの提供が可能
- フレームワークが対象とする資金使途は、カーボンニュートラル等のグリーンプロジェクトだけでなく、教育・医療アクセス改善、金融包摂やジェンダー格差解消等のソーシャル領域の幅広いプロジェクトを含む、課題解決に資する取り組みが対象
- 今後も積極的な発信等を通じたフレームワークの情宣ならびに個別案件の推進により、サステナブルな成長を通じた社会課題解決に取り組む

■ MUFGがめざす価値創造



施策・取り組み

- ✓ サステナブルファイナンスフレームワーク策定
 - JICAと協働で資金供給の機会を提供
 - 認証負担やコストが軽減された
サステナブルファイナンスの提供
 - PBにおけるソリューション拡大

社会的インパクト・達成したい状況

短～中期

- ✓ 東南アジアをはじめとした各国における
サステナブルファイナンスに取り組む
ハードルが下がり、取り組み気運が高まる

長期

- ✓ 途上国におけるグリーン・ソーシャル
プロジェクトが拡大、進展
- ✓ 途上国における社会課題の解決が
進み持続可能な未来に近づく

ストーリー8

JICA×三菱UFJ銀行×パートナーバンク サステナブルファイナンスフレームワークの策定

■ 担い手は語る

Q どのような想いで本取り組みを行いましたか？

A このフレームワークは、地場の銀行や企業がサステナブルファイナンスに取り組みやすくし、社会課題の解決に貢献するために策定しました。JICAや多くの関係者と何度も議論を重ね、現場の声や実際のニーズを反映した“使いやすい”仕組みづくりをめざしました。単なる制度設計にとどまらず、地域や社会に新しい価値を届けること、そして持続可能な未来をともに創ることを大切にしています。

Q 今後取り組んでいきたいことはありますか？

A このフレームワークを活用し、ソーシャル・グリーン関連の取り組みに対する融資をさらに増やしていきたいと考えています。まずは勉強会や顧客イベントなどを通じて、多くの方にこの仕組みを知ってもらい、パートナーバンクやその先のお客さまにも積極的に展開していきます。策定して終わりではなく、現場の声を取り入れながら、より良い仕組みへと進化させていきたいです。今後もステークホルダーの皆さんと一緒に、社会課題の解決や持続可能な未来づくりに貢献していきます。



MUFG・JICAのプロジェクトメンバー